

令和5年度 野々市市立布水中学校 学校の部活動に係る活動方針

学校の部活動に係る活動方針

※下線は昨年度と違いのある部分

1 休養日について

(1)学期中は、週あたり2日以上~~の休養日~~を設ける。平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日(以下「週末」という)は少なくとも1日以上を休養日とする。大会参加や大会前等で、やむを得ず休養日を週末に設定できない場合は、月曜日を休養日にするなど、平日に代替の休養日を設定する。週末の休養日設定数の確保は、1年間の中で調整するものとし、土曜日、日曜日、祝日又は振替休日において年間52日以上~~の休養日~~を確保する。なお、中体連が主催または共催する大会に出場した際に週末の両日に活動した場合については、年間で設定すべき52日以上の日数から減ずることができるものとする。(土日ともに大会に参加したときは1日減ずることを認める。土曜日のみ大会に参加したときは減ずることを認めない。日曜日のみ大会に参加したときは1日減ずることを認める。)

(2)長期休業中は、学期中に準じた扱いを行う。ただし、土日の両日を休養日とすることを原則とし、平日に休養日を設けないことを可能とする。また、12月29日から1月3日、8月11日から8月17日までの学校閉庁日に部活動は原則として実施しない。ただし、学校閉庁日直後の全国大会へ参加する部活動においては実施可能とする。

2 活動時間について

(1)1日の活動時間は、長くとも平日は2時間程度、学校の休業日(学期中の週末を含む)は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を目ざす。朝練は原則行わない。なお、この活動時間は通常練習における活動を指しており、練習試合や遠征等は含まない。また、中体連の大会(ブロック大会、県体、新人戦に限る)1週間前は、30分以内で活動時間を延長できるものとする。

(2)平日においては、生徒が安全に下校できるよう、日没時刻等を考慮して練習時間及び下校時刻を決定する。また、天候等により、下校時刻は臨機応変に対応する。

3 所属について

(1)体力や技能の向上に加え、異年齢や他校との交流を通じた好ましい人間関係の構築等の教育的意義に鑑み、部活動に加入することを勧める。ただし、クラブスポーツでの活動や習い事のある生徒、どうしても活動が困難な生徒は所属しなくても構わない。

(2)生徒のニーズに応じた部活動への参加形態も認めるものとし、適宜、調査を行い、①参加形態A(大会やコンクールへの出場等)を目ざし、顧問が認める用事があるときを除いて部活動に参加すること、②参加形態B(心身の健康のために、活動日や時間を限定して参加すること)、又は③不参加(部活動に所属しないこと)の意思を確認するとともに、部員間の相互理解を図る。

(3)年度内に休日の活動が地域移行する部活動があったときは、休日の参加について別途、調査し、参加の意思を確認する。

4 その他

(1)中体連に属さない部活動については、上記方針に準じて運用するものとする。

(2)各部の顧問は、年度初めに年間活動計画を作成し、毎月、月初めには前月の活動実績を校長に報告する。

(3)各部の顧問は、部活動の意義を踏まえ、必要に応じて保護者会会長と連携して、適切な部活動運営を行う。